

22

じゆんきょう おとめとうげ
殉教の道乙女峠

島根県津和野町



データボード②②

- ① 島根県津和野町大字後田
- ② 延長220m, 幅員2m
- ④ 砂利道
- ⑤ 乙女峠まつり

明治政府は維新後もしばらくの間、キリスト教に対しては徳川幕府と同じような政策をとり、幕府瓦解を受けて現れた長崎浦上の隠れ切支丹を改宗させるため、そのうち百五十三人を津和野藩に預けた。津和野藩では、これら切支丹を乙女峠の廃寺光琳寺に収容していたが、明治六年に諸外国の強い要請により信教の自由が認められるまでの間に多くの死者が出ている。

昭和二十六年には、この地に殉教者に捧げるマリア堂が建立され、切支丹弾圧の史実を今に伝えている。

この乙女峠は悲しい歴史の跡地として訪れる人々の涙を誘い、散策やこいの場となっており、毎年五月には殉教者の霊を慰める乙女峠まつりが行われる。